

(陳受18第29号)

福祉三団体再編に関する陳情

受理年月日

平成18年8月31日

陳情者

吉祥寺北町4-1-18-102
藤岡憲子

陳情の要旨

私は、福祉公社の協力員として、公社草創期から住民参加型サービスの担い手として多くの公社利用者を支えてきました。公社利用者は、その誰もが公社を信頼し、余生を公社に全託して、安心して人生を終えていきました。

私たち協力員は、公社と一心同体となって利用者に尽くし、私は、一人の利用者をみとるたびに、在宅福祉の醍醐味や達成感を感じました。そして、最後まで利用者を支え続けるこの公社制度を、市民として誇りに思いました。

しかし今回、公社が市により解散させられると聞きました。市民である協力員の献身や、公社職員の昼夜休日を問わぬ緊急対応などの自己犠牲を、市は御存じなのではないでしょうか。介護保険は、心の通った制度ではありません。しかし、住民参加型サービスは、顔の見える地域社会の市民による相互扶助です。今後も必ず役に立つと信じています。どうか福祉公社と協力員活動を正しく評価し、これからも公社を残してください。